

## 患者の皆さまへ

当院では、保有する既存試料・情報を用いて下記の研究を実施しております。このような研究の実施に当たっては、研究対象者の方に研究の参加を拒否する権利が保障されております。(オプトアウト)

この研究に関するお問い合わせなどありましたら、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

尚、研究又は他の研究機関への患者さんのデータ提供は、研究実施許可日から研究終了日の期間に行います。

### 記

|                   |  |
|-------------------|--|
| 研究機関名             | 市立豊中病院   |
| 研究実施許可日           | 2026年 4月 7日  |
| 研究終了日             | 2026年12月31日 まで   |
| 研究の名称             | 肝切除後のMRSAの鼻腔保菌と術後SSIとの関連性についての探索   |
| 研究対象              | 2011年1月から2025年12月に当院において肝切除された641例のうち、大腸癌や胃癌の肝転移に対して大腸切除や胃切除と同時に、肝切除された38症例を除いた603症例   |
| 対象材料              | 診療記録   |
| 対象期間              | 2011年1月から2025年12月  |
| 研究の目的意義           | 肝切除後の手術部位感染(以下SSI)は、その予防に対する様々な対策が行われていますが、頻度は低くありません。整形外科や心臓血管外科手術領域では、鼻腔PCRでMRSAが陽性であることがSSIの発生率を上昇させることが報告されています。今回、肝切除後のMRSAの鼻腔PCRとSSIとの関連性について検討し、PCRの結果によりSSIの発生率や起因菌を評価することで、SSIの治療などにPCRの結果が有用である可能性があります。 |
| 方法                | 研究対象者の、ICU入室時の鼻腔PCRでMRSAが陽性だった33例と陰性だった570例について、その患者さんの背景や周術期成績とSSIの発生率、SSI発生例におけるMRSAの頻度などについて、後方視的に比較検討します。  |
| 個人情報の取り扱い         | 個人情報は院内で取り扱い、匿名化等により院外には出しません。   |
| 問い合わせ先<br>(研究責任者) | 市立豊中病院 消化器外科<br>松下 克則<br>TEL. 06-6843-0101   |